



# 薄影ぐら願代表

僅に支那の面目たて

## 聯盟理事會お茶濁す

### 對蔣援助決議骨抜に終る

【「ユネープ二十一日同盟」聯盟理事會は二十一日午前公開會議を開催され、支那の提訴に基く對蔣援助決議を採擇した。決議は既往の聯盟總會並に理事會決議を回顧した後、聯盟總會に極東に近接關係のある聯盟國が同様利害關係ある他の諸國と共に去る十七日支那代表の陳述でなされた對蔣援助に關する諸提議を過當な場合商議檢討するやう要請するといふにあつて、顧鈞支那代表必死に拘らず僅かに相互商議の道を拓いて支那の面目をたてたとけでお茶を濁した。

【「ユネープ二十一日同盟」】聯盟理事會の決議につき消息通は左の如く批評してゐる。

一、支那代表の提議に甚く商議は聯盟國の他特に利害關係の密接な非聯盟國にも及ぶ。

二、調整委員會の設置には特に小國側が懸念を恐れる。

三、支那は英米佛三國の對日

通牒に協力して強硬な主張

れ反対した當時に英佛兩國も委員會を設置すれば日本

は愈々獨伊兩國と提携して

反対ブロッサムの強化の鐵蛇

であることを恐れたもので

あることを恐れたもので

なることを恐れたもので

あることを恐れたもので



